

【第5回ファミサポ講習会】

日 時 令和7年1月20日（月）10：30～11：45

場 所 砥部町保健センター 集団指導室

テーマ 「レクリエーションでコミュニケーション」「座談会」

講 師 愛媛県レクリエーション協会 松木 紀子氏

内 容

実技「レクリエーション」

- 手遊び じゃんけん遊び・・・何をしてもよい、失敗してもよい、間違っても指摘しない。褒めるとやる気を起こさせる。
- クイズ・・・答えが分かったときの「あー」が大事。クイズの答えは、全員が分かるものにする。子どもは経験がないとイメージできない。
- ハンドベル・・・言葉の掛け方やタイミングで、次のステップへスムーズに進める。
- 2人一組で丸を描いて、何かに見立てる・・・想像力とコミュニケーションを楽しむ。
どの活動も、高齢者は繰り返しが大事。子どもは同じことをすると飽きるので、テンポよく変えていくことが大事。達成感を感じることもポイント。

座談会「地域が関わる子育て支援」

各地域・各団体・個人の方から実践や取組を報告したり、課題について話し合ったりした。関わるのが楽しいと思えるような交流や支援ができればいい。どのように地域をつなげるか、地域を頼ろうと思うのか、いろいろな面から仕掛けていくことが必要である。

参加者の感想など

- レクリエーションはどれも楽しくて、あっという間の時間だった。講師の松木氏がモットーとしているレクリエーションは「笑い」や「楽しい」がベースであることを活動を通して実感した。
- 自分の脳トレになったし、サロンで実際に使いたい。
- お年寄りや子どもと関わるときの声の掛け方、プログラムの進め方、注意の仕方等、カフェやボランティアに生かすことができる。
- 座談会は、いろいろな取組が聞けてよかった。世代間交流は難しい部分も多いが、つながる嬉しさや楽しさ、日々の見守りや災害時の助け合いなど、住民が感じていけたらいいと思う。今後も、子育てに関わる人が集まる会議を開催してほしい。

